

第6節 誰もが生き生きと暮らせる豊かでゆったりとした生活環境の実現

1. 目指すべき方向の視点

(1) 健康で豊かさを実感できる地域づくりの必要性

20世紀後半に急成長を遂げた我が国は、少子・高齢化の時代へ入り、「ものの豊かさ」から「心の豊かさ」を求める成熟の社会へ転換しようとしています。こうした中で、人びとの価値観は多様化し、人と人とのつながりの中から得られる生きがいや楽しみといった価値が重視されるようになり、ライフスタイルやワークスタイルが大きく変化してきています。このような価値観の変化にあわせて、一人ひとりが健康で充実した生活をおくることができるようにゆとりある生活環境の形成や地域づくりを進め、成熟した社会を形成する基盤づくりが求められています。

中部地方は、首都圏や関西圏に比べ、職住が近接し、持ち家比率が高いなど住宅環境が良好で、身近に豊かな自然があるなど生活環境に恵まれています。こうした豊かさを誰もが実感できるようにすることが、中部地方に愛着を持ち、生き生きと暮らせる糧になると思われます。

(2) 生活者の視点に立った地域づくりの必要性

中部地方は、高度経済成長期以降の急激な経済発展により、都市部への人口集中をもたらした。住宅の供給不足、交通需要の増大を引き起こしました。大量供給の必要性の中で進められてきた社会資本整備は、地域の個性や地域の資源が見落とされがちで、画一的なまちを形成するとともに、女性や子供、お年寄りや障害を持つ人といった生活者の視点が欠けていたという問題が指摘されています。こうした反省から、各地で行政と住民が協働して進める住民参加型の地域づくりなどの取り組みや住民主体のまちづくり活動が行われるようになってきています。このような機運のもと、これからの社会資本整備や地域づくりは、積極的に住民や企業、NPOなど様々な主体との対話を行い、双方の信頼関係の中でともに考え、ともにつくるというパートナーシップを築きながら進めていく地域社会の形成が求められています。

2. わたしたちの目指す地域像

- ・ 生活者の視点が尊重され、誰もが様々なライフスタイルを実現できる地域
- ・ みんなが考え、まちづくりが進められる地域

- ・ 一人ひとりが生活している実感を感じられる地域。(ビジョン討論会静岡会場)
- ・ 若者もお年寄りも豊かさを実感できる住みやすい地域。(まんなか懇談会)
- ・ 障害者や高齢者が生き生きと暮らせるまち。(ビジョン討論会静岡会場)
- ・ 子ども達が大きくなったときに、「この地域で育ってよかった」と思える地域、「この地域で子育てして本当によかった」と思える地域。(ビジョン討論会名古屋会場)
- ・ 中部が今後目指すべき方向は、日本で最も便利で住みやすい地域、お年寄りも若者も一緒に住める地域。(まんなか懇談会)

3. 地域像を実現するための具体的な目標

目標 - 1 住宅や住環境の水準を高め、健康でより豊かな住まいづくりを推進します

(目標)

生き生きとした少子・高齢社会を支える居住環境の整備を図ります。
誰もが健康で豊かな生活をおくることができるよう、地域住民の多様なニーズに対応した住宅ストックの整備を図ります。

【地域の声】

- ・ 日本で最も便利で住みやすい地域を目指すべき。(まんなか懇談会)
- ・ 高齢者等にやさしい優良賃貸住宅の提供。(市町村長ヒアリング)

【具体的な施策および主要事業例】

- ・ 良好な居住環境を備えた高齢者向けの住宅の供給を推進します。(高齢者向け優良賃貸住宅 等)
- ・ リフォームなどによる住宅のバリアフリー化を推進します。
- ・ シックハウス¹対策を推進します。
- ・ 住宅と社会福祉施設や保育所等との一体的整備を推進します。

目標 - 2 ニーズにあった住宅を安心して選択できる環境を整備します

(目標)

地域住民が、それぞれのニーズに見合った住まいを多様な選択肢の中から安心して選べる住宅市場を形成します。

【地域の声】

- ・ 誰もが生き生きとして暮らせる豊かでゆったりとした生活環境の実現を。(ビジョン討論会静岡会場)
- ・ 人が住み始めればそこにマーケットもできて、まちが生き返ってくる。都心居住は民間も含めてやって欲しい。(ビジョン討論会豊橋会場)
- ・ 若者定住、UIターンを支える公営住宅の整備を。(市町村長ヒアリング)
- ・ まちのなかを歩いたり、自転車に乗るなど、公共機関をもっと使うことによって得られる、ゆったりとした時間も大切であり、そのような機会をつくる計画も必要。(ビジョン討論会岐阜会場)

【具体的な施策および主要事業例】

- ・ 瑕疵保証制度²の普及等により、中古住宅市場の活性化を図ります。
- ・ 高齢者が安心して住宅を選べる環境を整備します。(高齢者円滑入居賃貸住宅の登録・閲覧制度 等)
- ・ 住宅性能表示制度³の普及を促進します。
- ・ 公共賃貸住宅情報をはじめとして、住まいに関する様々な情報提供する体制の充実を図ります。

¹ シックハウス：建材に使われた接着剤や壁材から出るホルムアルデヒドなどにより目が痛くなったり咳が出たりする症状を引き起こす住宅。新築直後、こうした症状(シックハウス症候群)が発生する住宅が問題となっている。

² 瑕疵保証制度：住宅を新築した場合、築後10年以内(中古住宅の場合は5年以内)であれば住宅取得者が住宅供給者に対し瑕疵担保責任(欠陥が見つかった場合に無償で修繕したり、賠償しなければならない責任)を追及できる制度。

³ 住宅性能表示制度：住宅を取得しようとする人が、性能の面から住宅を比較したり評価できるように、住宅のもつ性能を統一した基準に従って評価、等級付けする制度。

目標 - 3 公共交通機関の利便性を向上します

(目標)

自家用車を利用しなくても誰もが快適に移動できる公共交通輸送環境を向上させます。
コミュニティバスや乗合タクシーなど新しい輸送形態を念頭においた交通体系づくりを進めます。

[地域の声]

- ・ 公共交通機関の充実が必要。公共交通機関を利用するような仕掛けが大事。(まんなか討論会四日市会場)

[具体的な施策および主要事業例]

- ・ 公共交通機関のネットワークを整備するとともに、駅のバリアフリー化や乗り継ぎ利便向上など交通機関の利便性の向上を図ります。(静岡駅 等)
- ・ バス車両及びバス停留場施設の快適性、利便性を向上します。
- ・ 高齢者や障害者に配慮したノンステップバス¹の導入を促進します。
- ・ バス路線において、バス車両が安全・円滑に走行できる道路整備を推進します。
- ・ コミュニティバスなど地域の特色に合った交通の導入を促進します。

目標 - 4 IT技術を活用した暮らしに役立つ情報を入手しやすくします

(目標)

河川・流域に関する情報や交通情報など暮らしに役立つ情報がいつでも身近なところで気軽に入手できるとともに、産業活動を高度化・迅速化する情報通信環境の整備を進めます。

[地域の声]

- ・ 行政は、インターネットを利用する方法など、計画に対する市民参加の新しい手法に取り組むべき。(ビジョン討論会豊橋会場)
- ・ IT(情報)交通、おもてなし、この3つが一体となって人が集うまち、住み心地の良いまちができるのではないか。(ビジョン討論会伊勢会場)

[具体的な施策および主要事業例]

- ・ 河川や流域に関する情報を収集整理し、国民がそれを共有し、IT技術を活用することによって実現された安全で多様な文化を持つ国土の構築のために、「水情報国土」の構築、県においては、「情報基盤緊急整備」事業によって、国・県・市町村の防災情報を共有化するための整備を推進します。
- ・ 統合道路管理情報センターの整備の他、「ITS世界会議愛知・名古屋2004」及び「愛・地球博」の開催、中部国際空港の開港を通して、必要な情報をわかりやすく提供します。
- ・ 電線共同溝²や情報BOX¹などの情報インフラの整備により高速で低廉なネットワー

¹ ノンステップバス：[nonstep bus]ステップをなくし直接車内に乗り降りできるように設計されたバス。具体的には地上面から床面までの高さが約30cm程度など、低床バスよりも厳格な基準を満たす必要がある。

² 電線共同溝：光ファイバー、電力線等をまとめて収容する地下構造物。電柱や架空の電線が無くなるため都市景観の保全に有効である。また、阪神・淡路大震災で共同溝の破損がほとんどなかったため防災上からも見直されている。商業業務の集積地区で、良好な都市景観を保全するとともに、高度情報化社会への対応を図る目的で整備が進められている。

ク整備を支援します。

- ・ G I S² (地理情報システム) を活用したわかりやすい情報提供を実現します。
- ・ 高度な情報通信インフラの整備や当面利用のない光ファイバー網等の民間活用を進めます。
- ・ I T 技術を活用した事務の効率化を推進します。(電子入札、電子納品等の導入)

目標 - 5 ユニバーサルデザインが実感できる社会を実現します

(目標)

都市公園等の公共施設、鉄道駅等の公共空間へのユニバーサルデザインの導入や外国の人にもわかりやすい案内情報の提供などを推進します。

[地域の声]

- ・ 高齢者、障害者、子供、乳母車を引いたお母さんなど、すべての人が住みやすいまちづくりを。(ビジョン討論会四日市会場)
- ・ 高齢者が車に乗れなくなったときにトコトコ歩いて買い物したり暮らしたりという街を目指したい。(ビジョン討論会豊橋会場)
- ・ 街路空間へのユニバーサルデザインの導入を。(市町村長ヒアリング)
- ・ 高齢者福祉施設など公共施設の付近は、車いすの人やお年寄りが安心して街を散策できるようにするとよい。(ビジョン討論会津会場)

[具体的な施策および主要事業例]

- ・ 高齢者・障害者等が円滑に利用できるよう公共空間のバリアフリー化やI T Sによる移動支援を推進します。
- ・ バリアフリー歩道整備などによる、自転車・歩行空間の整備とバリアフリー化を推進します。
- ・ 駅地下横断歩道へのエレベーター設置等交通結節点のバリアフリー化などによって、鉄道駅等の交通結節点や主要な施設を含む周辺地域等の面的バリアフリー化を推進します。
- ・ 道路、駅、空港、港湾及び庁舎等の公共施設のユニバーサルデザイン化を推進します。
- ・ 園路のバリアフリー化や福祉施設との一体的整備等により、乳幼児から高齢者まですべての人が安全かつ快適に利用することができる都市公園の整備を推進します。

目標 - 6 安全で安心に移動できる生活環境をつくります

(目標)

交通安全対策の推進や、事故危険箇所の対策など事故等の未然防止と被害軽減を図るとともに、歩行者優先の道づくりや防犯対策など、誰もが安心して歩行できる生活道路を確保します。

[地域の声]

- ・ 高齢化に伴い、交流を担う道路を高齢者の視点で整備していく必要があるのではないか。(ビジョン討論会高山会場)

¹ 情報 BOX : 光ファイバー等を収容する地下構造物の一種。

² GIS : 地理情報システムと呼ばれ、電子地図上に様々な情報を重ね合わせて表示したり、分析するシステムのことで、社会資本整備の計画や環境・防災アセスメントなど公共事業以外にも不動産や物流など応用範囲が広い。

- ・ 人優先のまちづくり、歩車道分離、自転車のレーン等も含めて、もう少し人が優先できるようなまちにして欲しい。(ビジョン討論会名古屋会場)
- ・ 歩道の整備、電線地中化等による歩行者空間の確保を。(企業ヒアリング)
- ・ これからの都市内の交通においては、歩行者や高齢者や子供に優しい道づくりが必要である。また、まちの様々な拠点を結ぶネットワークを考えた道づくりが必要。(ビジョン討論会岐阜会場)

【具体的な施策および主要事業例】

- ・ 交差点改良等の緊急事故対策などの交通事故対策を推進します。
- ・ くらしみちゾーンの整備などにより、歩行者、自転車優先の道路利用による交通安全を推進します。
- ・ 交通安全対策を充実・強化させます。
- ・ 鉄軌道事業者に対しては、近代化事業や踏切道を改良するなど安全対策を推進します。
- ・ バス・タクシー事業者及び船舶事業者に対する、監査や講習を実施します。
- ・ 船舶の航行安全を図り、水面利用の適正化を図るため、放置艇等プレジャーボート等の適正な係留・保管を推進します。
- ・ 走行環境の安全性を高めるため、道の駅などの簡易PAを設置します。
- ・ 都市の安全性を高めるため、落書き、違法駐車などの防犯対策を推進します。

目標 - 7 誇りを持って住むことができる地域づくり・まちづくりを目指します

(目標)

大都市や拠点都市以外の地方都市において、便利で快適な生活をおくることができるよう生活環境の向上を図ります。

中心市街地(まちなか)の活性化や、子育てしやすい環境形成など充実した生活をおくることができるといえる住み心地のよい地域づくりを目指します。

【地域の声】

- ・ 子供達が大きくなったときに、「この地域に育って良かった」と思える地域、親が「この地域で子育てして本当に良かった」と思える地域であってほしい。(ビジョン討論会名古屋会場)
- ・ それぞれの地域が誇りを持って光らせる。歴史とか文化とか自然の環境に磨きをかけることが必要。(ビジョン討論会伊勢会場)
- ・ 少子高齢社会の中では、女性が働きやすく子育てしやすい環境づくりへの貢献が社会資本整備で一番大事。(まんなか懇談会)
- ・ 地域に暮らす子ども達の視点は大きい参考になるので、子ども達とまちを点検しながらまちづくりを進めていくことも大切だ。(ビジョン討論会津会場)

【具体的な施策および主要事業例】

- ・ 著しい海岸侵食によって失われた砂浜を回復させ、海岸、海洋を利用したレクリエーション活動の支援を推進します。
- ・ 電線類地中化事業の推進によって、無電柱化による美しい街並み、都市空間を形成します。

- ・ ウォーキング・トレイル¹事業などの推進によって、ゆとりとうるおいの実感できる質の高い歩行空間を整備します。
- ・ 地域の創意工夫を活かした地域が主役のまちづくりを進め、中心市街地を活性化します。(まちづくり総合支援事業 等)
- ・ 水辺の楽校、ふるさとの川モデル事業、ラブリバー制度により、地域に開かれた河川整備を推進します。

目標 - 8 まちづくりや水辺・海辺づくり等を進めるグループ作りやその活動及び女性や子供の視点に立った活動を支援します

(目標)

地域住民の主体的な活動を支援して地域のコミュニティの醸成・活性化を図るとともに、住民参加型のまちづくりや水辺・海辺づくりを促進し、地域住民、企業など様々な主体と行政のパートナーシップによる地域づくりを推進します。
各種のPI活動において、女性や子供の視点をもっと取り入れます。
車座集会などにおいて女性と男性の参加者数を同数程度にします。

【地域の声】

- ・ 市民、行政、事業者による協働のパートナーシップ型のまちづくりを支援することが重要。(ビジョン討論会浜松会場)
- ・ まちづくり、地域づくりには女性の視点、子供の視点も取り入れてほしい。(ビジョン討論会名古屋会場)
- ・ 大人では気づかない子供の視点からまちづくりを考えていくことも必要。(ビジョン討論会浜松会場)
- ・ 地域住民との理解醸成・協力によるまちづくりを。(市町村長ヒアリング)
- ・ 住民が自己責任を持って意思決定できるように、住民にきちんと情報が得られる環境を整えるべき。(ビジョン討論会静岡会場)
- ・ 行政と住民の間をつなぐNPOなどをもっと上手く活用すれば、行政と住民の協働はもっとうまくいく。(ビジョン討論会静岡会場)

【具体的な施策および主要事業例】

- ・ いきいき・海の子・浜づくりなどの海浜地域のもつ自然環境を活用した、野外教育、環境教育のために利用しやすい海岸づくりを推進します。
- ・ 地域の住民等が道ビジョンや河川整備計画・海岸保全計画、みなとまちづくり²などまちづくり計画に参画できるようにします。
- ・ NPOとのパートナーシップによる自然環境の環境学習プログラムを充実します。(国営木曾三川公園)
- ・ 住民のまちづくり活動を支援する地域交流センター等の整備を推進します。

¹ ウォーキング・トレイル：[walking trail] 近年増加している歩行愛好者のために、歩きやすいよう整備した道路。建設省が96年度から、市街地ではウォ・トレイル、郊外ではカントリー・トレイルとして事業化している。河川敷や海岸を含めた自然を生かしながら、史跡など地域の名所をつなぐコースを設定し、歩行者ネットワークをつくることを目指している。

² みなとまちづくり：国、港湾管理者、地元市町村といった行政関係者や港湾関連事業者に加えて、地域のNPOなどの市民の参加の下で、港を活かした地域づくり・地域活性化を考える取り組み。

- ・ ボランティアサポートシステムなどによって地域住民、NPO等と連携して道路施設の計画・管理を行います。
- ・ 地域住民等の参加によりきれいな海、川づくりを支援します。
- ・ 住民主体のまちづくりを進めるための人づくりを支援します。
- ・ 地域住民とともに考え、公共交通の利用促進や観光振興を推進します。
- ・ 今後の社会資本整備についてP I等を積極的に行います。

【当面取り組む主要なプロジェクト】

プロジェクト13

中部の豊かな住まいづくりプロジェクト

(目標 1、2、4、6、7の達成を目指して)

少子・高齢社会に対応し、住宅・建築物のバリアフリー化、住宅と社会福祉施設、保育所等との一体的整備をすすめることにより、高齢者や子育て世帯が生き生きと暮らせる居住環境を実現するとともに、シックハウス対策を推進し、誰もが健康で快適に暮らせる住宅ストックの整備を図るとともに、居住地域についても面的なバリアフリーや電線類地中化などによる街なみ整備を図ります。

また、住宅性能表示制度の普及、住情報提供体制の充実等により、ニーズに見合った住まいを安心して選べる住宅市場を整備します。

【地域の声】

- ・ 住環境整備においては、住み替えをうまく誘導して耐震性に優れた質の高いストックを残す仕組みをつくるべき。(ビジョン討論会静岡会場)
- ・ 住まいづくりに関するプロジェクトを望みます。(ふれあい広場静岡会場)
- ・ 体が不自由なので、階段など色々な点でバリアフリーを多く作って欲しい。(ふれあい広場岡崎会場)
- ・ 住まいのバリアフリーをこれからも取り組んで欲しい。(ふれあい広場伊勢会場)

【主要施策・主要事業】

- ・ 岐阜県営北方住宅：公営住宅整備事業【岐阜県】(H19までに一部完成予定)
- ・ 静岡市営富士見団地：公営住宅整備事業【静岡市】(H19までに一部完成予定)
- ・ 愛知県営平針住宅：公営住宅整備事業【愛知県】(H19までに一部完成予定)
- ・ 愛知県営山野田住宅(仮称)：公営住宅整備事業【愛知県】(H19までに完成予定)
- ・ 名古屋市営南・中田代団地：公営住宅整備事業【名古屋市】(H19までに完成予定)
- ・ 桑名駅東第一地区優良住宅整備事業【桑名市】(H19までに完成予定)
- ・ 四日市市営大瀬古新町団地：公営住宅整備事業【四日市市】(H19までに完成予定)
- ・ 鈴鹿市営磯山団地：公営住宅整備事業【鈴鹿市】(H19までに一部完成予定)
- ・ 八田・高畑地区：住宅市街地整備総合支援事業【名古屋市】(H19までに一部完成予定)
- ・ 千種台センター地区：住宅市街地整備総合支援事業【名古屋市】(H19までに完成予定)
- ・ 千種台団地：住宅宅地関連公共施設等総合整備事業【名古屋市】(H19までに完成予定)
- ・ 東濃研究学園都市団地：住宅宅地関連公共施設等総合整備事業【土岐市】(H19までに完成予定)
- ・ 住宅性能表示制度の普及促進【国・地方公共団体】
- ・ 情報BOX(光ファイバーの収容空間)の整備(国道302号名古屋市等)【国・岐阜県】(事業推進)
- ・ 水情報国土(光ケーブル・CCTV)【国】(事業推進)
- ・ 河川関連情報基盤緊急整備事業【岐阜県・静岡県・愛知県・三重県】(事業推進)
- ・ 統合道路管理情報センター【国】(H15完成)
- ・ 中部地区道路情報提供システムの推進

- ・ 中部地域情報通信ネットワークプランの推進
- ・ 各県が推進するGIS（地理情報システム）の支援（電子地図の共有等）【国・県】
- ・ 建設CAS/ECの推進（電子入札、電子納品の拡大と電子納品データの高度利用等）【国・県・市・町・村】
- ・ 暮らしのみちゾーンの整備【静岡県・愛知県・岐阜県】（事業推進）
- ・ 電線共同溝の整備（国道1号安城等）【国・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県・名古屋市】事業推進

プロジェクト14

交通結節点（静岡等）ユニバーサルデザインプロジェクト

（目標3、4、5、6の達成を目指して）

少子・高齢社会に対応したバリアフリー社会の形成という目標の下、鉄道、港湾、空港、道路等の各事業が連携して、主要な旅客施設とその周辺の主な施設等について面的なバリアフリー化を推進します。

また、幹線道路などの安全性を高めるため、IT技術の活用や交差点改良などの事故抑止対策を実施するとともに、市街地の歩道設置、歩行者優先道路の整備や違法駐車対策を推進し安全な通行を確保します。

【地域の声】

- ・ 駅は人々がまちに入る玄関口でもあるので、誰もが使いやすい駅の整備を進めて欲しい。（ビジョン討論会蒲郡会場）
- ・ 歩道を自転車が猛烈なスピードで走ってくることがあり、高齢者にとっては安心して歩けない。（ビジョン討論会静岡会場）
- ・ これからは人間中心の視点で、歩行者、自転車が安全に安心して通行できる環境を整えていくべき。（ビジョン討論会静岡会場）
- ・ ユニバーサルデザインは、社会資本整備だけでは対応できない面もあり、法整備など社会全体のユニバーサルデザインを進めていく必要がある。（ビジョン討論会静岡会場）
- ・ 歩道のない道路を走っていると通学している子ども達の安全が心配。（ビジョン討論会津会場他）
- ・ 防犯体制がきちんとできていれば防災体制にもつながる。地域の防犯対策が大切。（ビジョン討論会名古屋会場他）

【主要施策・主要事業】

- ・ 静岡駅前交通結節点改善事業【国・静岡市】（H19完成予定）
- ・ 情報BOX（光ファイバーの収容空間）の整備（国道302号名古屋市等）【国・岐阜県】（事業推進）
- ・ OZパーク（大曽根地下駐車場）の入出庫管理にETC通信技術を活用したシステムの試行導入【国】
- ・ 豊田駅周辺地区（（都）豊田則定線）ITS関連施設整備事業【豊田市】（H16年完成予定）

- ・ バリアフリー対応(国道155号等)【国・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県・名古屋市】(事業推進)
- ・ 常滑空港地区海上アクセスターミナル【愛知県】(H16完成予定)
- ・ 津松阪港鰐崎地区海上アクセスターミナル【三重県・津市】(H16完成予定)
- ・ 鳥羽港佐田浜地区マリントウンプロジェクト【三重県】(事業推進)
- ・ 伊良湖港伊良湖地区旅客船ターミナル【愛知県】(H15完成)
- ・ 刈谷地方合同庁舎【国】(H15完成)
- ・ 中部空港地方合同庁舎【国】(H16完成予定)
- ・ 名古屋中村税務署(エレベーター設置)【国】(H16完成予定)
- ・ 御高法務総合庁舎(ハートビル改修)【国】(H16完成予定)
- ・ 航空旅客ターミナル地区のバリアフリー化【国・愛知県・静岡県・事業者】(事業推進)
- ・ 鉄軌道駅のバリアフリー化【事業者】(事業推進)
- ・ 事故危険箇所対策(国道19号木曾地域等)【国・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県・名古屋市】(事業推進)
- ・ 交通渋滞対策(国道21号長岡交差点改良等)【国・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県・名古屋市】(事業推進)

プロジェクト15

住民と協働した地域づくりプロジェクト

(目標7、8の達成を目指して)

未知普請プロジェクト¹や伊勢湾・川と海のクリーンプロジェクト²、緑陰道路プロジェクト³、みなとまちづくりなどの、国民と対話し協働しつつ、顧客志向の行政を展開し、住民参加型のまちづくり、住み心地のよい地域づくりを推進します。また、NPO等とのパートナーシップによる自然環境の環境学習プログラムの充実や、環境学習の拠点となる水辺空間(「水辺の楽校」など)を整備します。

【地域の声】

- ・ まちづくりに参加できる機会はあるが、行政との連携やそのような場のネットワークは十分ではない。(ビジョン討論会岡崎会場)
- ・ もっと緑地や公園を増やし、住民に開かれた安らぎの港として発展させたい。(ビジョン討論会清水会場)
- ・ 子供たちのための体験学習の機会を増やし、地域住民と行政の連携を深めたい。(ビジョン討論会清水会場)
- ・ できあがったものを誰もが気持ちよく使えるようにどのように活用していくべきかを

¹ 未知普請プロジェクト：道路行政に関するビジョンの策定や事業プロセスの見直しを国民との対話や協働作業を通じて行うことを目的として始められた取り組み。

² 川と海のクリーンプロジェクト：行政とボランティアが協働して、伊勢湾に流れ込む河川や海岸の清掃活動をおこなう取り組み。

³ 緑陰道路プロジェクト：街路樹の剪定を極力控え、自然のあるがままの状態に保つことで緑豊かな街路にすることを狙いとして、街路樹を剪定しない道路の管理について、地域住民の協力を得ながら、試行的に行われている取り組み。

行政と市民が対話をしながら考えていくことが大切。(ビジョン討論会静岡会場)

【主要施策・主要事業】

- ・ まちづくり総合支援事業【市・町】(事業推進)
- ・ 緑地保全事業(椎ノ木谷地区)【浜松市】(H18開園予定)
- ・ ウォーキング・トレイル事業(掛川市)の支援【国】
- ・ 水辺の楽校(大須床固工群(H17完成予定)土岐川(事業推進))【国・岐阜県】
- ・ ふるさとの川モデル事業(新荒田川・萩間川・山崎川・三滝川・五十鈴川)【静岡県・三重県・名古屋市・岐阜市】(事業推進)
- ・ 国営木曽三川公園で環境教育プログラムの推進
- ・ 桔梗が丘10号公園【名張市】(H17開園予定)
- ・ 笠松みなと公園【笠松町】(H17一部開園予定)
- ・ 川と海のクリーン大作戦【国】(継続)
- ・ モニター会議の実施【国】
- ・ 女性、子供が参加できる見学会の実施【国】
- ・ 社会資本整備の総合学習プログラムの作成【国】
- ・ 地域づくり討論会の実施
- ・ まんなか懇談会の実施
- ・ ワークショップなどによる施設計画策定の推進【国】
- ・ ボランティア・サポート・プログラムの推進(アダプト・プログラム等)【国・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県・名古屋市】
- ・ ロード・セーフティステーションの推進【国】
- ・ ROADパートナーの推進【国】
- ・ 地域との連携協働による河川管理【国】(事業推進)